

オススメ!
空弁・空スイーツ

美味しいものは、いつも空港から。



空港ショップ「BLUE SKY(ブルースカイ)」より、人気の空弁と空スイーツをご紹介します。空港にお立ち寄りの際に、ぜひお買い求めください。

<http://bluesky.jalux.com/>



お問い合わせ先:
空港リテール事業部
TEL.03-5756-9110
(平日9:00~17:30)

Jalux

幸せづくりのパートナー



みち子がお届けする若狭の浜焼き鯖寿司



空弁ブームの火付け役。肉厚の鯖を地元福井の調理法で香ばしくジューシーに仕上げました。鯖とシャリの間のガリが、味を引き締めてくれます。また、6切れ入りはきやら露の佃煮もついています。

価格(税込) 840円(4切れ) 販売店舗 羽田空港、成田空港、中部空港、関西空港、伊丹空港、出雲空港、徳島空港
1,155円(6切れ)



札幌かりーせんべい「カリカリまだある？」



札幌の有名スープカレーのお店「札幌かりーヨシミ」が、味と香りにこだわって作り出した新感覚のせんべいです。特製のガラムマサラと生地に練りこまれたエビの香ばしさが相まった、絶妙な旨みと香りをお楽しみください。

価格(税込) 630円(8袋入り) 販売店舗 新千歳空港、函館空港、釧路空港、女満別空港、帯広空港、旭川空港



華ちらし

築地料亭「竹若」の江戸前風ちらし寿司です。味つけはあっさりとしていながら、築地市場のえび・いくら・穴子などスタミナ食材が満載で、彩りも鮮やかなお弁当です。黒を基調にしたパッケージも美しく、女性のお客さまにも最適な商品となっています。

価格(税込) 850円
販売店舗 羽田空港



ぷっくり牡蠣のたれ焼き押し寿司

広島産の濃厚で大粒な牡蠣を、自家製のたれで丁寧に仕上げました。牡蠣のたれ焼きの押し寿司は空弁初の商品となりました。BLUE SKYが自信を持ってオススメする逸品です。

価格(税込) 980円
販売店舗 羽田空港



日本橋屋長兵衛「東京銘菓 天下鯛へい」

日本橋の老舗和菓子店「日本橋屋長兵衛」の人気商品です。北海道産の上質な小豆で作ったつぶあんをしっとりとした生地で包み込み、可愛らしい鯛姿に焼き上げた逸品です。羽田空港にお越しの際は、ぜひ東京土産にご賞味ください。

価格(税込) 630円(5個入り)/1,050円(8個入り)
1,575円(12個入り)/2,100円(16個入り)
販売店舗 羽田空港



ロイズ石垣島生チョコレート

(黒糖、マンゴー、パイナップル、パッションフルーツ&シークワーサー、泡盛)

なめらかな口どけで人気の「ロイズ」の生チョコレートに、沖縄県ならではの素材を加え、那覇空港にて限定販売している「ロイズ石垣島生チョコレート」。黒糖、泡盛など5種類のお味をご用意しております。

価格(税込) 735円
販売店舗 那覇空港

※上記価格等に関する情報は、2010年6月現在のものです。また、本紙に記載された商品の価格、その他一切の内容は予告なく変更する場合があります。

株式会社 JALUX

(東証1部: 銘柄コード2729)

〒140-8638 東京都品川区東品川2-4-11※
TEL 03-5460-7233

www.jalux.com

※8月より本社オフィスを下記住所に移転します。
住所: 〒140-0002 東京都品川区東品川3-32-42



2010年6月発行

第49期

JALUX REPORT

事業報告 2009年4月1日~2010年3月31日



代表取締役社長 横尾 昭信

CONTENTS

トップメッセージ 01

特集 今後の成長に向けて
~2010-2011年度への展望~ 03

TOPICS 05

業績の概況 06

連結財務諸表 07

会社情報 09

JALUX ラウンジ 10

株主の皆さまにおかれましては、
ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
本年6月18日をもって、
代表取締役社長に就任いたしました横尾 昭信でございます。
宜しく願い申し上げます。

1.はじめに

当連結会計年度(2009年度)におけるわが国の経済は、外需や経済対策の下支えにより一部持ち直しの兆しが見られたものの、自律性には乏しく、企業は雇用・設備の過剰感を払拭できないまま、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社においても、このような事業環境の中、上場来初めての赤字決算となりました。株主・投資家の皆さまにはご心配をお掛けいたしましたこと、深くお詫び申し上げます。

また、当期は期末配当金として1株あたり10円の配当を予定しておりましたが、当社財務基盤の確立が急務であること、ならびに昨今の航空業界を取り巻く事業環境が世界的に不透明であることなどを含めて総合的に勘案した結果、誠に遺憾ながら2010年3月期末の配当は見送らせていただくこととなりました。

当社と致しましては、このような事態を真摯に受け止め、事業構造改革の推進とコスト管理のさらなる徹底、財務体質の改善・強化に取り組むとともに、早期の復配を目指してまいる所存です。株主・投資家の皆さまにおかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2. 2010年3月期決算概況

当社グループの事業概況といたしましては、B to B ビジネス(主に事業会社向けビジネス)において、厳しい市場環境を受けて事業取引の縮小が進行したことにより、売上・利益とも前年を下回る結果となりました。B to C ビジネス(主に消費者向けビジネス)においては、農水産関連事業が堅調な実績をおさめたものの、節約志向の高まりや消費低迷の影響、また昨年10月より実施している事業構造改革において、当期末におけるたな卸在庫の圧縮を目的とした評価減を実施したことの影響等もあって、同じく売上・利益とも前年を下回る実績となりました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は105,561百万円(前年比93.2%)となりました。損益面では、

事業活動における「選択と集中」を進める一方、コストの徹底管理に努めましたが、たな卸在庫の評価減等を実施したこともあり、営業損失294百万円、経常損失310百万円となりました。

また、特別損益において、事業構造改革の一環として、低採算ビジネスからの撤退に伴う事業整理ならびに希望退職者募集による特別損失を計上したことにより、当期純損失は1,263百万円となりました。

連結業績 (単位:百万円)	2010年 3月期	2011年 3月期(予想)	増減
売上高	105,561	99,500	△ 6,061
営業利益	△ 294	1,300	1,594
経常利益	△ 310	1,100	1,410
当期純利益	△ 1,263	300	1,563

3. 今期の取り組みおよび2011年度への展望

今期(2010年度)につきましても早期の業績回復を果たすべく、商品・サービス力の強化や固定費削減など、収益改善に向けて全社一丸となって全力で取り組んでまいります。一方、当期3月末において完了済みの構造改革施策により、今期は約15億円の収益底上げ効果が見込まれますが、引き続き外部環境の変化に対して柔軟に対応できる体制づくりを強力に推進してまいります。

あわせて当社は2012年3月に創業50周年を迎えますが、2010-11年度を企業変革のターニングポイントとして捉え、

事業構造改革の完遂と今後の成長に向けた基礎固めを最優先課題として取り組んでまいります。具体的な取り組み内容については、次のページに記載しておりますが、基本的な方針として①重点事業の強化、②事業ポートフォリオの変革、③企業体質の強化の3点を掲げております。

創業50周年を控えたこの2年間で、皆さまにとって欠かさない企業へと成長を遂げるべく、全役員・社員一丸となって取り組んでまいりますので、今後とも変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2010-2011年度は、事業構造改革の完遂と今後の成長に向けた基礎固めの期間として取り組んでまいります。

これまでに実施・決定した事業構造改革の成果

収益力の拡大と収益構造の強化

- 事業領域・拠点の集約 → 不採算事業撤退や支店の統廃合
- 収益・コスト管理の多角化 → 事業毎B/S経営、社内金利制度の徹底

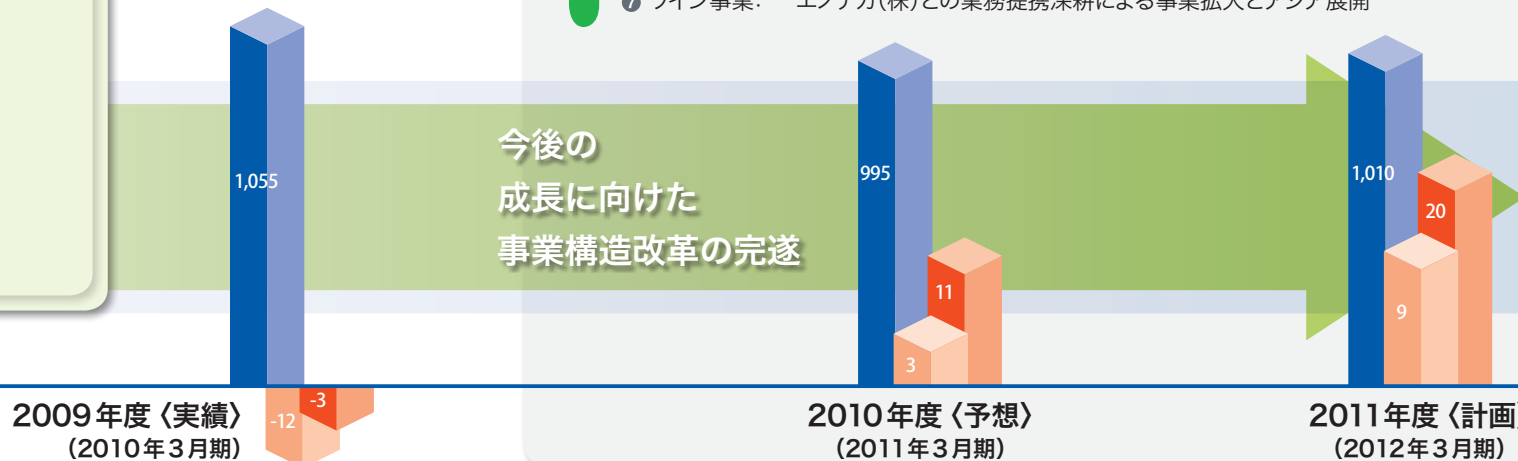
在庫圧縮・保有資産の売却・コスト削減

- たな卸在庫の圧縮 → 2010年3月末において通販・ワイン在庫など△250百万円の評価減
- 保有資産の売却 → 投資有価証券17銘柄売却済、非営業用資産の処分等
- 本社オフィスの移転 → 2010年7月末に移転、年間賃料は現在の67%減

組織スリム化・人事施策

- 希望退職者の募集 → 単体社員160名を削減(全社員の23.5%に相当)
- 組織集約とフラット化 → 営業2部門6本部体制 全社42部・支店を2営業本部 全社20部に削減
- 役員数の削減 → 常勤役員14名を7名体制へ

■ 売上高
■ 経常利益
■ 当期純利益
(単位: 億円)



2010-2011年度における3つの基本方針

重点事業の強化

- 経営資源の再配分
- 事業領域の絞り込み
- 戦略分野への重点投入

事業ポートフォリオの変革

- JAL外ビジネスのさらなる拡大
- 資産効率の向上
- 財務体質の改善

企業体質の強化

- 組織・人員のスリム化
- 事業ストラクチャーの見直し
- 利益責任の明確化 コスト管理の徹底

事業本部別 重点施策

航空・サービス事業

- ① 航空機部品: アジアを中心とした海外展開および重工業向け高付加価値ビジネスの拡大
- ② 機械・資材: アジア展開の加速化と鉄道・船舶など、航空以外の運輸マーケットへの本格参入
- ③ 保険事業: 戦略子会社による個人保険代理店事業のBPO(アウトソーシング)展開と他社提携・買収による事業拡大
- ④ 不動産事業: 省エネ・リサイクル等環境保全ビジネス拡大および指定管理者事業への進出

リテール・フーズ・ビバレッジ事業

- ① 空港店舗事業: コンサルティング活用による事業改革と運営主体を子会社へ移管 商品開発の強化・卸売ビジネスの拡充
- ② 免税品事業: 空港会社、海外機内販売事業会社等との業務提携(卸・小売)
- ③ 通信販売事業: (株)主婦の友ダイレクトとの協業強化と機能統合
- ④ ケータリング事業: 双日(株)との業務提携による空弁の海外航空会社展開とコンビニエンスストア等への販路拡大
- ⑤ 農水産事業: 双日(株)との業務提携による仕入強化と中国・ベトナム等での食品加工による高付加価値商品の展開
- ⑥ ギフト事業: ギフト事業者との業務提携による事業拡大と海外展開模索
- ⑦ ワイン事業: エノテカ(株)との業務提携深耕による事業拡大とアジア展開



新たな成長ステージの確立へ

1
TOPIC

サークルKサンクスとの オリジナル「空弁」の共同開発



2009年7月、株式会社サークルKサンクスとの共同開発により、コンビニ向けオリジナル弁当「空弁 焼さば鮎」を、全国のサークルKとサンクスの店舗および羽田空港内の「BLUE SKY」にて限定販売いたしました。続く11月には第2弾商品として、国産黒毛和牛を使用した「黒毛和牛ちらし」を同コンビニ限定、羽田空港内BLUE SKY限定の2種類販売し、12月には第3弾商品として本ズワイガニを使用した「空弁 かに いくら鮎」を羽田空港内BLUE SKY限定で販売いたしました。

今後も他社との協業を含め、オリジナル商品の開発を積極的に行い、個性あふれる多様な品揃えで、空港店舗を展開してまいります。どうぞご期待ください。

2
TOPIC

JALUX グッドタイムホーム・多摩川 オープン

2009年9月、当社グループの介護施設運営会社・株式会社JALUXライフデザインは、介護付有料老人ホーム「JALUX グッドタイムホーム・多摩川」をオープンいたしました。このホームは、調布(2004.10開設)、不動前(2006.12開設)に続く第3号目のホームとなります。施設開発にあたっては、当社の不動産事業部が用地購入から建物建築、調度品の調達まで、総合コーディネイトを手がけました。

緑に恵まれた環境の中、“より身近で家庭的なケア”をテーマに、上質な居住空間で心温まるサービスをご提供いたしております。



お問い合わせ ▶ 0120-32-9006 (受付時間 9:00～18:00)
www.jalux-goodtimehome.com/group/tamagawa.html

3
TOPIC

JALUX HONG KONG 香港で精米ビジネスを展開

当社の香港現地法人JALUX HONG KONG Co., Ltd.では、2009年9月より、精米したての日本産のお米をお届けする「香港精米所 三代目 俵屋玄兵衛」を現地企業との全面提携により展開しております。

玄米は国内で当社が仕入・輸出し、JALUX HONG KONGにて輸入および管理しております。現地にて精米することにより、安価で新鮮な日本のお米の販売を実現させ、日本食レストラン等を中心に販売を行っております。また、現地企業との提携に

より、約40万人いるといわれている現地富裕層や在留邦人に向けたネット販売も積極的に展開し、さらなる販路拡大を図っております。

今後もJALUXは日本企業として日本の食文化を発信していくとともに、現地に根ざしたリテール事業領域の強化を目指してまいります。



業績の概況

(要旨) ※単位:百万円、単位未満切り捨て

REVIEW OF OPERATIONS

■決算総括

	当 期 2009年4月1日～ 2010年3月31日	前 期 2008年4月1日～ 2009年3月31日
売上高	105,561	113,225
営業利益又は営業損失(△)	△ 294	601
経常利益又は経常損失(△)	△ 310	1,358
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 1,263	392
総資産	43,439	42,899
純資産	13,823	15,702

■事業のセグメント情報 (2009年4月1日～2010年3月31日)

	当 期	前 期	前期比
売上総利益			
航空関連事業	3,022	2,759	110%
コーポレートソリューション事業	2,833	3,510	81%
トラベルリテール事業	13,169	13,539	97%
フーズ・ビバレッジ事業	2,810	2,780	101%

各事業の主な商品および販売形態

- 航空関連事業 …………… 航空機、航空機部品、機械・設備、調達サービス
- コーポレートソリューション事業 …… 印刷メディア、保険事業、不動産事業、プロパティマネジメント
- トラベルリテール事業 …………… 免税品、ブランド/ファッション、通信販売、地域名産・特産品、飲食・レストラン、店舗
- フーズ・ビバレッジ事業 …………… 農産物、水産物、加工食品、贈答ギフト、ワイン



航空関連事業 Aviation-related

航空関連事業では、航空機部品の販売が上半期に伸び悩んだ影響などを受けて減収となりましたが、機材関連において、空港・地上機材等の販売が好調に推移した結果、売上総利益では前年を上回る実績となりました。



コーポレートソリューション事業 Corporate solutions

印刷メディア関連では、法人需要の減退を受けて減収となりましたが、利益面では前年を上回る実績となりました。不動産事業については、前期に高収益物件を販売している反動もあって、前年を下回りました。これらの結果、当事業全体の売上総利益は前年を下回る結果となりました。



トラベルリテール事業 Travel retail

免税品関連では、免税店向け卸売事業が拡大したものの、国際線の旅客数減少などの影響を受けて減益となりました。通信販売関連では、消費意欲の減退や低価格志向の高まりを受けて前年実績を下回りました。また空港店舗関連においても、航空旅客数の減少と消費者の買い控え傾向が相まって、免税店を含めた店舗関連事業全体で減益となりました。



フーズ・ビバレッジ事業 Food & beverage

ワイン事業では、たな卸在庫の評価減を計上し前年を下回ったものの、農水産関連では付加価値の高い冷凍水産物や青果物の輸入販売が堅調に推移したことにより、年度実績として過去最高の売上高・売上総利益を収めました。

連結財務諸表

(要旨) ※単位:百万円、単位未満切り捨て

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

■連結貸借対照表

	当 期	前 期		当 期	前 期
	2010年3月31日現在	2009年3月31日現在		2010年3月31日現在	2009年3月31日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	28,411	29,402	流動負債	21,603	21,287
現金及び預金	8,143	6,151	支払手形及び買掛金	9,677	13,262
受取手形及び売掛金	9,732	11,842	短期借入金	7,131	3,755
たな卸資産	6,345	8,056	未払法人税等	92	44
未収入金	2,389	—	未払費用	2,092	2,300
繰延税金資産	808	390	本社移転費用引当金	123	—
その他	1,053	3,037	その他	2,486	1,923
貸倒引当金	△60	△76	固定負債	8,011	5,909
固定資産	15,027	13,496	長期借入金	6,854	4,848
有形固定資産	8,088	5,683	退職給付引当金	186	77
無形固定資産	1,364	1,927	役員退職慰労引当金	92	189
投資その他の資産	5,574	5,885	繰延税金負債	168	179
投資有価証券	2,263	2,658	その他	709	613
長期貸付金	438	378	負債合計	29,615	27,196
長期差入保証金	2,139	2,185	純資産の部		
前払年金費用	—	94	株主資本	13,163	15,126
繰延税金資産	641	369	資本金	2,558	2,558
その他	167	379	資本剰余金	711	711
貸倒引当金	△74	△180	利益剰余金	9,991	11,868
資産合計	43,439	42,899	自己株式	△97	△11
			評価・換算差額等	△555	△605
			その他有価証券評価差額金	△1	△25
			繰延ヘッジ損益	2	0
			為替換算調整勘定	△556	△581
			新株予約権	21	—
			少数株主持分	1,193	1,180
			純資産合計	13,823	15,702
			負債純資産合計	43,439	42,899

■連結損益計算書

	当 期	前 期
	2009年4月1日～ 2010年3月31日	2009年4月1日～ 2009年3月31日
売上高	105,561	113,225
売上原価	83,809	90,721
売上総利益	21,752	22,503
販売費及び一般管理費	22,047	21,902
営業利益又は営業損失(△)	△294	601
営業外収益	313	948
営業外費用	328	191
経常利益又は経常損失(△)	△310	1,358
特別利益	133	2
特別損失	1,614	405
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△1,790	956
法人税等	△531	473
少数株主利益	3	90
当期純利益又は当期純損失(△)	△1,263	392

■連結キャッシュ・フロー計算書

	当 期	前 期
	2009年4月1日～ 2010年3月31日	2009年4月1日～ 2009年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,170	1,400
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,617	△3,044
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,824	1,712
現金及び現金同等物に係る換算差額	12	△152
現金及び現金同等物の増減額(△減少)	2,048	△83
現金及び現金同等物の期首残高	6,091	6,174
現金及び現金同等物の期末残高	8,139	6,091

■ 株式情報

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式総数	12,775,000株
株主数	11,798名

■ 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	出資比率
双日株式会社	3,832	30.0%
株式会社日本航空	2,727	21.4%
東京海上日動火災保険株式会社	455	3.6%
ニッセイ同和損害保険株式会社	392	3.1%
三井住友海上火災保険株式会社	252	2.0%
あいおい損害保険株式会社	189	1.5%
株式会社損害保険ジャパン	189	1.5%
空港施設株式会社	168	1.3%
JALUX社員持株会	160	1.3%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	87	0.7%

■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
株主確定基準日	3月31日(定時株主総会・期末配当金)
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先・郵送先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都江東区東砂7丁目10番11号 ☎0120-232-711
公告掲載方法	当社ホームページにおける電子公告

■ 株券電子化によるご注意

- 株券電子化に伴い、住所変更などの各種お手続きにつきましては、原則として口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。当社株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

■ 会社概要

商号	株式会社 JALUX (ジャルックス)【英文名JALUX Inc.】
証券コード	2729(東証1部)
設立	1962年(昭和37年)3月28日
資本金	25億5,855万円
従業員数	1,874名(連結子会社1,217名を含む)
国内空港店	25空港94店舗
国内関連企業	(株)JALUXエアポート(空港店舗運営業務)※ (株)JAL-DFS(免税品販売)※ (株)JALUXライフデザイン(介護事業) (株)JALUX保険サービス(保険事業)※ (株)主婦の友ダイレクト(通販事業)※
海外関連企業	JALUX AMERICAS, Inc.(ロサンゼルス)※ JALUX EUROPE Ltd.(ロンドン)※ JALUX ASIA Ltd.(バンコク)※ JALUX HONG KONG Co., Ltd.(香港)※ JALUX SHANGHAI Co., Ltd.(上海)※ JALUX HAWAII, Inc.(ホノルル)

※連結子会社

■ 役員 (2010年6月18日現在)

代表取締役社長	横 尾 昭 信
代表取締役 副社長執行役員	高 橋 淑 夫
取締役 常務執行役員	正 田 克 彦
取締役 常務執行役員	平 井 淳
取締役(社外)	寺 西 清 一
取締役(社外)	菊 山 英 樹
監査役	安 孫 子 正 行
監査役(社外)	奥 山 寛 二
監査役(社外)	岩 井 幸 司
執行役員	寺 本 久 男
執行役員	渡 辺 耕 士
執行役員	曾 我 英 俊



もっと強く、もっとやさしく、
JALUX は社会貢献にも積極的に取り組みます。

2009年度の「社会貢献型・株主優待制度」には、導入初年の2008年度を超える204名の株主様よりご賛同およびご参加をいただきました。皆様のご支援、ご協力を心より感謝申し上げます。

同制度は、当社からの拠出金ならびに当社社員からの寄付に加え、株主の皆様も株主優待商品券をご活用いただくことにより、当社を通じて社会貢献活動にご参加いただけるものです。JALUXでは毎年3月末および9月末現在の株主の皆様に対して株主優待商品券を進呈いたしておりますが、同制度の趣旨にご賛同いただいた株主様から株主優待商品券の一部をご返送いただき、当社がその株主優待商品券相当額を一括してJALUX名義で環境保護団体や社会福祉団体などへ寄付させていただいております。

また、2009年10月より上記制度に加え、当社役員・社員を対象に新たに「社会貢献型チェックオフ(給与天引き)制度」を導入いたしました。具体的には、制度に賛同した役員・社員が自らの自由な意思で加入を決定し、毎月の給与(または報酬)のうち希望額(1口=100円~)を会費として拠出(給与控除)するという内容です。



写真提供: JCV

寄付先の選定につきましては、社内の「CSR推進委員会」において慎重に検討いたしました結果、前年度に引き続き、途上国の子どもたちへワクチンを贈る目的で募金活動を行っている認定NPO法人「**世界の子どもにワクチンを 日本委員会(以下、JCV)**」とすることに決定いたしました。本年4月、204名の株主様からお預かりした株主優待商品券相当額に加えて、会社からの同額の拠出金、「社会貢献型チェックオフ(給与天引き)制度」による拠出金、さらに当社役員・社員から募った寄付金、**総額1,361,294円**をJCVへ寄付させていただきました。

JALUXは、同団体の支援活動を通じて、未来ある子どもたち・ひと・国に貢献できる企業を目指すとともに、当社の事業展開との結びつきが深い「ラオス人民民主共和国」の子ども達へ支援の輪が広がることを期待しています。



株主優待について

毎年9月末および3月末現在、100株以上所有の株主名簿記載の株主の皆様へ、次の通りJALUX株主優待商品券を進呈いたします。

株数	商品券枚数		年間優待額
	9月末	3月末	
100株以上 (500株未満)	2枚	2枚	4,000円
500株以上 (2,000株未満)	4枚	4枚	8,000円
2,000株以上 (4,000株未満)	7枚	7枚	14,000円
4,000株以上 (6,000株未満)	10枚	10枚	20,000円
6,000株以上 (10,000株未満)	12枚	12枚	24,000円
10,000株以上	14枚	14枚	28,000円

優待内容

JALUX通信販売カタログおよび空港店舗でのお買い物において、1枚につき1,000円分の商品券としてご利用いただけます。(1年間有効)

適用対象

株主優待商品券は、通販カタログ『JAL World Shopping Club』、空港ショップ『BLUE SKY』、空港免税店『JAL-DFS』でご利用いただけます。

※インターネット通販、機内販売、「JAL PLAZA(東京・有楽町/大阪)」、「NAA&JAL-DFS(成田空港 第1ターミナル)」等ではご利用できませんので、あらかじめご了承くださいませようお願いします。

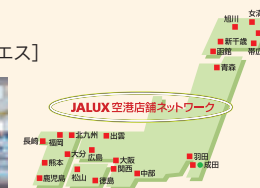
カタログ通販で使えます!

JAL World Shopping Club
[ジャル・ワールド・ショッピングクラブ]



空港内の店舗で使えます!

■ BLUE SKY [ブルースカイ]
● JAL-DFS [ジャル・ディーエフエス]



※店舗は出退店により変動する場合がございます。